

<b>第120回不正対策研究部会</b>	
開催：	平成28年6月24日（金）午後1時～午後3時 PCSA会議室にて
出席人数：	正部員12名、日遊協参加者3名、メーカー参加者1名、オブザーバー参加者1名、 合計17名
出席者リスト：	<b>リーダー</b>
	松本 浩 株式会社ヒカリシステム
	<b>サブリーダー</b>
	市川 忍 株式会社ダイナム
	<b>正部員</b>
	倉沢 隆志 株式会社ニラク
	寺島 宗幸 株式会社ニラク
	大野 卓生 夢コーポレーション株式会社
	小菅 一宏 夢コーポレーション株式会社
	今野 浩司 株式会社TRY&TRUST 出 出
	梅野 唯行 株式会社合田観光商事
	柏 信吾 株式会社パンドラ（アメニティーズ）
	渡邊 雅也 株式会社アメニティーズ（アメニティーズ）出 出
	徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ
	山本 謙 株式会社三永
	<b>一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協）参加者</b>
	2名 株式会社マルハン
	1名 株式会社アブリイ
	<b>遊技機メーカー参加者</b>
	大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
<b>オブザーバー</b>	
高石 隆一 様 有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス	
討議事項：	1) ゴト被害アンケート 2016年5月について
	アンケート回答9社。電波ゴト、ショートゴト、持ち込み、加工メダル、 糸付き玉、変則打ちなどで、被害件数74件、被害額¥630,010-、警察への 通報回数が10件、被害届申請が10件、被害届受理が4件となっている。
	5月は誤差メダル玉がと変則（攻略）打ちが数多く発生した。電波ゴトの発覚 経緯や特定の遊技機を探す手法などについて説明がされた。また、持ち込まれた 他店の玉メダルの処置方法や糸付き玉対策部品の情報を共有した。
	2) 筐体カシメについて
	遊技機筐体Aで使用されているカシメの新しい偽物の情報を説明された。 また、基板部品の欠品の可能性や設定ログの表示について各社から意見を 集めた。
	3) 設定漏えいについて
	設定漏洩対策の手法について各社の事例を共有した。また、顔認証システムの 導入などが意見として出された。
	4) 拡大部会開催について
	7月 拡大不正対策研究部会・勉強会 東京にて開催 情報交換交流会 有
	10月 拡大不正対策研究部会・勉強会 東京以外で開催
	※次回開催場所を検討、決定予定。
	次回開催
	平成28年7月29日（金） 第121回不正対策研究部会・第36回不正対策勉強会 午後1時～5時 PCSA会議室にて